

**令和4年度  
マスコミ、報道記事等**

# 本校の教育の情報化・EdTechに関するマスコミ報道



4/6 YouTube限定配信の始業式、入学式(MBC)

# 【PTA】県PTA新聞(小学校版)2面に本校の取組が掲載されました

2022年05月02日



5月2日(月)県PTA新聞(小学校版)5月号に本校の取組が掲載されました。内容は「チーム星峯西小学校で取り組むEdTechとは？」というタイトルです。県内の各小学校に今後の学校の姿を示唆する記事です。5月6日(金)に全家庭に配布されます。



# 本校の教育の情報化・EdTechに関するマスコミ報道

1 教育関係者  
2 保護者  
3 地域関係者  
4 その他

## 教育情報 多言語学習西小学校を取り組むEdTech (EdTechの活用はどうか?) 西宮市立豊西小学校

多言語学習の取り組みから生まれたEdTech (EdTech)とは、教育・学習環境にIT技術を取り入れることを指している。EdTechの活用は、教育の質を向上させるだけでなく、学習者の個性や興味関心に応じた学習を実現する。EdTechの活用は、学習者の個性や興味関心に応じた学習を実現する。EdTechの活用は、学習者の個性や興味関心に応じた学習を実現する。



図1-1 EdTechのウェブサイトを活用した学習環境の構築

このEdTechの活用は、教育の質を向上させるだけでなく、学習者の個性や興味関心に応じた学習を実現する。EdTechの活用は、学習者の個性や興味関心に応じた学習を実現する。EdTechの活用は、学習者の個性や興味関心に応じた学習を実現する。



図1-2 EdTechのウェブサイトを活用した学習環境の構築



図1-3 EdTechのウェブサイトを活用した学習環境の構築

- A 学習者の個性や興味関心に応じた学習
- ① EdTechの活用による学習環境の構築
- ② EdTechの活用による学習環境の構築
- ③ EdTechの活用による学習環境の構築
- ④ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑤ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑥ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑦ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑧ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑨ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑩ EdTechの活用による学習環境の構築

- B EdTechの活用による学習環境の構築
- ① EdTechの活用による学習環境の構築
- ② EdTechの活用による学習環境の構築
- ③ EdTechの活用による学習環境の構築
- ④ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑤ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑥ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑦ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑧ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑨ EdTechの活用による学習環境の構築
- ⑩ EdTechの活用による学習環境の構築



図1-4 EdTechのウェブサイトを活用した学習環境の構築

5/2 本校のEdTechの取組(県PTA新聞)

# 本校の教育の情報化・EdTechに関するマスコミ報道



5/6 市政広報番組オンライン授業(KKB)



# 本校の教育の情報化・EdTechに関するマスコミ報道

<https://kyoiku.sho.jp/156231/>

星峯西小学校の教科別実践例をチェック! Part1 「先進的な自治体&小学校」の「ICT活用」実例②

関連タグ ICT GIGAスクール

## 「先進的な自治体& 小学校」の 「ICT活用」実例

前回、鹿児島市学校ICT推進センターが、同市のICT環境をどのように整備し、ICT活用を推進してきたか紹介をしました。その環境をベースに各学校ではどのように実践が進められてきたのでしょうか。特別な研究指定校ではないなか、学校長を中心に1年間でICT活用実践を推進してきた、鹿児島市立星峯西小学校で取材をしました。

6/6 ,6/13,6/20「みんなの教育技術」3回連載(小学館)



# 本校の教育の情報化・EdTechに関するマスコミ報道

## 教育ICT

### GIGA端末を活かす！教員研修・授業活用<13>「端末持ち帰りで授業と家庭学習をつなぐ～鹿児島県鹿児島市」中村学園大学 教育学部 山本朋弘教授

2022年7月4日

連載

GIGAスクール構想後の活用期・発展期でのポイントの1つが、児童生徒が1人1台端末を家庭に持ち帰り、家庭学習で有効に活用できるようにすることである。

鹿児島市(原之園哲哉教育長)の学校では、GIGAスクール構想で整備された情報端末を児童生徒が家庭に持ち帰り、家庭学習と授業をつなぐ取組が進められている。以前から教育の情報化を推進してきた鹿児島市は、GIGAスクール構想後の活用期や発展期として、学校改革にいち早く取り組んでいる。



星峯西小学校

鹿児島市立星峯西小学校(谷口源太郎校長)では、情報端末の持ち帰りの基本的な学習過程を教員間で共通理解して学校全体で取り組んでいる。例えば、児童が家庭で予想した回答を教師へ返信し、結果が授業前に自動集約され、授業の中でグラフ化されて提示される。このような情報端末を用いた家庭学習を支えるポイントとして、オンラインでの児童集会や朝会など、学校での取組を日常的・持続的に進めている点が挙げられる。

鹿児島市立桜峰小学校(大迫誠校長)では、情報端末持ち帰りを予習型授業として進めている。そのベースとなるのが、ICTとクラウドサービスを活用した校内研修である。担当教員が研究授業を録画し、動画配信サービスにアップロード。教職員は空き時間に動画を視聴してWebアンケートに感想や意見を回答する。その後、教職員間の協議の場を設けることで、授業者の省察や感想や意見の集約に余裕ができ、研修を効率的に進めることができる。



桜峰小学校

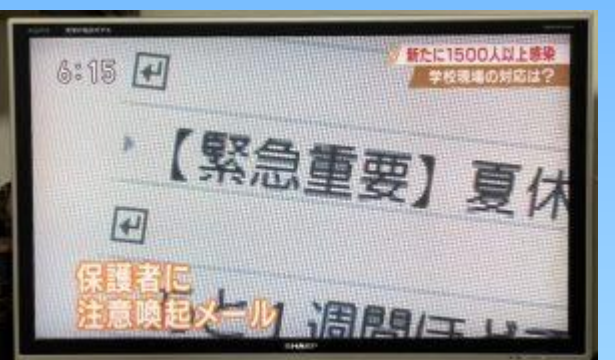
鹿児島市のように、授業活用だけでなく、授業と家庭学習で子供の学び全体をとらえ、GIGAスクール構想後のICT活用を「学校改革のトリガー」として取り組む自治体がこれから増えていく。

教育家庭新聞 教育マルチメディア号 2022年7月4日号掲載



# 【マスコミ取材】コロナ関係でNHKの取材があり県内、全国版ニュースで放送されました

2022年07月13日



6年2組の授業の様子を撮影していただきました。それと合わせて学校からの保護者へ注意を喚起する緊急メールを作成している様子や校長のインタビューがありました。18時からの県内ローカルニュースで放送されたほか、19時と21時の全国ニュースでも流れました。



# 【マスコミ報道】夏休み期間中タブレット端末持ち帰りが新聞掲載されました 2022年08月16日




8月14日(日)付けの南日本新聞に本校5,6年生のタブレット端末夏休み中持ち帰りの記事が写真、コメント付きで掲載されました。

# 【事例発表】かごしま未来の学びをつくる会で 本校の実践を発表しました 2022年08月20日



かごしま「未来の学びをつくる会」  
2022年度・第1回学習会  
チーム星峯西小学校で取り組む  
「教育の情報化」  
学校全体へ広げるGIGAスクール  
2年目の実践  
これまでの実践から見てきたこと

令和4年8月20日(土)  
鹿児島市立星峯西小学校  
校長 谷口源太郎



かごしま「未来の学びをつくる会」  
2022年度・第1回学習会  
チーム星峯西小学校で取り組む  
「教育の情報化」  
学校全体へ広げるGIGAスクール  
2年目の実践  
これまでの実践から見てきたこと

令和4年8月20日(土)  
鹿児島市立星峯西小学校  
校長 谷口源太郎

A wider view of the stage shows several men in suits at podiums. The audience is seated in red chairs. The background screen displays the same text as the previous image.

8月20日(土)Lika(ライカ)ホールで「かごしま未来の学びをつくる会」が開催されました。県内外の教職員、学校関係者、行政関係者、関連企業等の方々が多数参加して行われました。その中のパネルディスカッションで星峯西小学校の1年6か月にわたる「教育の情報化」「エドテック」のなど情報教育の実践を発表しました。



# 【事例発表】かごしま学力向上フォーラムで 本校の実践を発表しました 2022年08月23日

## 鹿児島県学力向上フォーラム

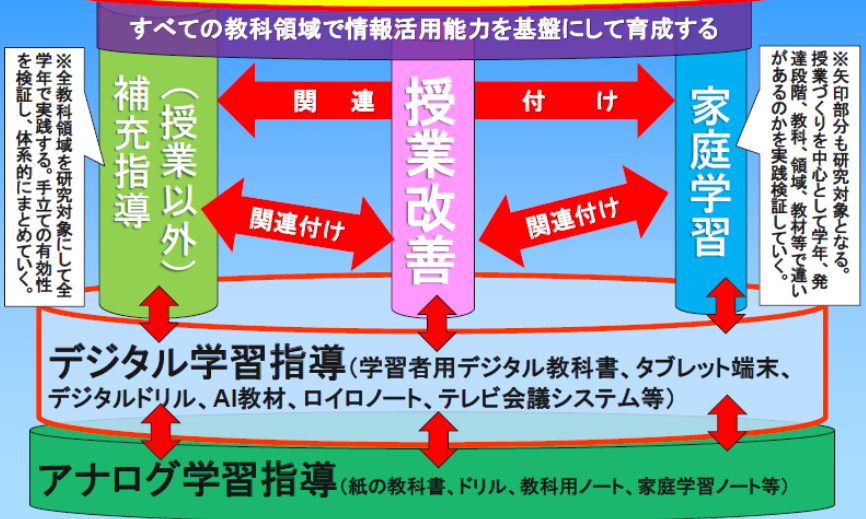
今、子どもたちのために何をすべきか  
～学力向上について見つめなおす～

チーム星峯西小学校で取り組む学力向上プランⅡ  
科学的根拠(EVIDENCE)及びID(インポート・データ)に  
基づく学力向上の具体策～



鹿児島市立星峯西小学校  
令和4年8月23日(火)  
校長 谷口源太郎

## 「確かな学力」: 知育: 校訓かしこく



# 【事例発表】かごしま教育の情報化フォーラム で本校の実践を発表しました 2022年10月27日




10月26日(水)かごしま県民交流センターで「かごしま教育の情報化フォーラム」が開催されました。県内外の教職員、学校関係者、教員を目指す大学生、行政関係者、関連企業等の方々が多数参加して行われました。その中の分科会で星峯西小学校の1年6か月にわたる「教育の情報化」「エドテック」のなど情報教育の実践を発表しました。会場にはオンライン参加40名を含めて約100名を超える方が参加されて本校の実践に耳を傾けられました。



# 【マスコミ掲載】11/2付け南日本新聞に本校の6年生(渡辺陽己さん)記事が掲載されました

## 2022年11月02日

渡辺陽己さん  
星峯西小6年(鹿児島市)



「自分が武器を持つから相手も武器を持つ。みんな家族だと思えば争いも起きない」という言葉が一番心に残った。家族の中でもけんかや争い

### 武器持たず争い解決を

ことが起こる時がある。しかし、話し合えば仲直りできる。国と国の争いも、家族と同じように話し合いで解決できるような世界になってほしい。お互いに信用し合えば誰も武器を持つことなく仲良く暮らせるはずだ。日本国憲法は戦争が起きないようにつくられたすばらしい憲法。もっと学び、友達と話し合い、考えたい。

### 日本国憲法演じ25年

## 国民が大事にされる権利訴え

11月3日は日本国憲法の公布を記念して制定された国日の祝日「文化の日」です。鹿児島市出身の芸人・松元ヒロさんは、25年前から憲法になりきる「人芝居」憲法くんを演じ続けています。オセモコ特選劇の渡辺陽己さん(星峯西小6年・同市)が19日、ウェブ会議システムでインタビューし、舞台に込めた思いを聞きました。

**芸人・松元ヒロさんに聞く**

「憲法くんを思い付いたきっかけは25年経つ理由です。『施行50周年の記念に憲法を楽しく紹介するコント』をつ

種別が違ふんです。法律は国が国民に守ってもらうルール。憲法は国民が国に守ってもらうルールです。つまり、憲法は国や政治家が国民を困らせるようなことをしないように縛つ

**やめサポ**  
特派員インタビュー

### 日本国憲法演じ25年

## 国民が大事にされる権利訴え

日本国憲法公布25周年を記念して制定された国日の祝日「文化の日」です。鹿児島市出身の芸人・松元ヒロさんは、25年前から憲法になりきる「人芝居」憲法くんを演じ続けています。オセモコ特選劇の渡辺陽己さん(星峯西小6年・同市)が19日、ウェブ会議システムでインタビューし、舞台に込めた思いを聞きました。

**芸人・松元ヒロさんに聞く**

「憲法くんを思い付いたきっかけは25年経つ理由です。『施行50周年の記念に憲法を楽しく紹介するコント』をつ

種別が違ふんです。法律は国が国民に守ってもらうルール。憲法は国民が国に守ってもらうルールです。つまり、憲法は国や政治家が国民を困らせるようなことをしないように縛つ

**やめサポ**  
特派員インタビュー

11/2付けの南日本新聞に本校の6年生(渡辺陽己さん)の書いた記事が掲載されました。Web会議システムを使って松元ヒロさんにインタビューをして感想を書いたとのこと。学校での学びが学校外でも活かされています。



# 【教育の情報化】南日本新聞「教育」欄に本校の取組が紹介されました

2022年11月08日

①星峯西小学校の取り組みを発表する谷口源太郎校長②「情報I」の進め方について講演する丸本徳之さん  
③いずれも鹿児島市のかごしま県民交流センター



## デジタル教育考える

### 鹿児島市でフォーラム ICT活用法報告



①星峯西小学校の取り組みを発表する谷口源太郎校長②「情報I」の進め方について講演する丸本徳之さん  
③いずれも鹿児島市のかごしま県民交流センター

ICTや人工知能(AI)を使う教育現場のデジタルトランスフォーメーション(教育DX) 推進について発表した。  
コロナ下で取り組んだデジタル端末の活用やオンライン授業を踏まえ、学習環境を守るため学校・教師間の格差をなくす必要性を強調。「特定の教科や分野に限らず誰もが(教育DX) 取り組めるようにし、先進例を職員間で共有することが大切」と述べた。

■先進例の共有  
星峯西小学校(鹿児島市)の谷口源太郎校長は、

デジタル化社会で必要な教育の在り方を探る「かごしま 教育の情報化 フォーラム」が鹿児島市であった。オンラインを含めて関係者約440人が参加。分科会やパネルディスカッションを通じ、情報通信技術(ICT)の活用方法を学んだ。10月26日にあったフォーラムの様子を報告する。  
(小手川美子)



11/7付け 南日本新聞『教育』欄に10/26開催された『かごしま教育の情報化フォーラム』事例発表の記事が掲載されました。本校での教育DXに向けた実践を皆でどのように共有してきたかということを発表させていただきました。本校の実践事例が学校外へ広がりを見せ始めています。本校の事例が少しでも県内外の取組に貢献できるのであれば幸いです。本校は子どもたちのためにこれからも歩みを止めずに前に進んでいきたいと思っています。



# 【マスコミ記事】11月29日(火)6年1組の英語科授業が新聞掲載されました。2022年12月05日

文化生活部 kurashi@373news.com  
Tel:099-813-5138 Fax:099-813-5180

## 教育

### ICT生かし英語学ぶ 星峯西小 効果的な指導模索

2020年度に小学校高学年の正式教科となった英語について、鹿児島の星峯西小は、児童に1台ずつ配布したタブレット端末を有効に活用している。

11月29日に同校であった6年1組の英語の授業。児童らは、先生の指導で、タブレット端末で英語の発音を確認する児童らの発表の様子をタブレット端末で撮影する児童ら



「かしまの発音」

11月29日に同校であった6年1組の英語の授業。児童らは、先生の指導で、タブレット端末で英語の発音を確認する児童らの発表の様子をタブレット端末で撮影する児童ら



タブレット端末を着け、タブレット端末で英語の発音を確認する児童ら



発表の様子をタブレット端末で撮影する児童ら

小学校の英語教育は、01年度から英語を必修、外国語活動を小学5・6年生で必修化。外国語慣れ親しむことを目的とし、教科書を使わず

### ズーム

児童の意欲や態度を評価した。その後指導要領を改定、20年度からは、必修とする。小学5・6年生から前倒し。小学5・6年生から、教科書を使って成績をつける正式教科にした。

も聞き返し発音を直せるのが勉強になる」と話した。授業では、A・E・Aによる教材の英語での説明を児童が復唱する場面も。英語専任の徳田秀隆教諭(44)は「間違えてもいいから、繰り返して英語を口にして自信を付けることが大切。端末利用、A・E・Aのやりとりを組み合わせ、コミュニケーション力の向上を図りたい」と話した。

授業での情報通信技術、ICT機器活用に関し、県内でも積極的な取り組みが目立つ同校。英語の授業で端末を用いる利点について、谷口源太郎校長(58)は「手本の音声を手軽に聞けるし、自分の音声をタブレットで残せば改善もついかみやすくなる」と強調。他校と連携し、ICT機器を生かした手法をより磨いていく考えを示した。(小手川美子)



ヘッドホンを着け、タブレット端末で英語の発音を確認する児童ら



発表の様子をタブレット端末で撮影する児童ら

12月5日(月)南日本新聞に11月29日(火)に6年1組で行った英語科授業が「教育」欄に掲載されました。児童一人1台のタブレット端末を活用した小学校英語科の提案授業です。当日は星峯東小学校、星峯中学校の英語担当の先生方にも授業に参加。具体的な取組内容としては、

- ①ヘッドセット(ヘッドフォン付きマイク)を児童一人一人が付けて英単語の発音練習をする。
- ②英会話での発表をペアでタブレットカメラで撮影してその動画映像を見て自分のスピーキングを振り返ったりするなどの場面で活用しました。



# 【マスコミ放送】12月16日(金)BTVケーブルテレビで 本校英語科の授業の様子が放送されました

2022年12月16日



11月29日(火)に行われた本校6年生の英語科の授業について、12月5日(月)付け南日本新聞に掲載されましたが、その後BTVケーブルテレビも取材されていきました。12月16日(金)①7:00～、②12:00～、③17:00～、④21:00～、⑤23:00～の5回放送されました。YouTubeでも配信中です。



# 【マスコミ報道】マスク新指針について電話取材があり、2月11日(土)付けの南日本新聞にコメントが掲載されました。

2023年2月11日

「本来の学校に少しずつ戻していけるだろう。表情を見ながらの対話は、教育活動上も望ましい」。鹿児島市の星峯西小学校の谷口源太郎校長(59)は喜ぶ。

3月23日の卒業式は国の方針に従い、合唱を除いて卒業生はマスクなしで臨む。保護者からは、マスクなしの入退場や出席者の人数制限撤廃を求める声が多かったという。「保護者や児童にとって一生に一度のこと。在校生の出席見送りや手指消毒、時間短縮といった感染対策はしつと柔軟に対応したい」と話した。

2月10日(金)に南日本新聞から「マスク新指針」についての電話取材があり、卒業式や入学式のマスク着用の緩和について、校長としてのコメントを求められました。保護者の思いや今後の教育活動が本来の姿に戻ることは、望ましいことであり、歓迎すると回答しました。



## マスク新指針

新型「コロナウイルス」の5類移行で、卒業式を皮切りに学校教育でマスク着用を求めないと国が決めた10日、鹿児島県内の関係者からは歓迎や不安の声が交錯した。

# 「本来の学校に」「意識低下心配」

## 県内 歓迎と不安交錯

「本来の学校に少しずつ戻していけるだろう。表情を見ながらの対話は、教育活動上も望ましい」。鹿児島市の星峯西小学校の谷口源太郎校長(59)は喜ぶ。

3月23日の卒業式は国の方針に従い、合唱を除いて卒業生はマスクなしで臨む。保護者からは、マスクなしの入退場や出席者の人数制限撤廃を求める声が多かったという。保護者や児童にとって一生に一度のこと。在校生の出席見送りや手指消毒、時間短縮といった感染対策はしつと柔軟に対応したい」と話した。

小学生1人、中学生2人を育てる鹿児島市の別代女子校も「感染不安は残るが、参加者がマスクをして臨んだ昨年の卒業式。国の決定を踏まえ、学校活動がどう変わるか注目される」と2月15日、鹿児島市の天保山小学校

## 百貨店 J R、様子見も

政府の新型「コロナウイルス」対策の新たな指針で、マスク着用が個人の判断に委ねられる見通しとなった。企業では歓迎の声が上がる一方、大半の人にとっては着用が習慣化し、しばらく様子見の意向も聞かれた。

## 全国のワクチン接種状況

(10日)	接種率
1回目	81.3%
2回目	80.3%
3回目	68.2%
4回目	-
オミクロン対応	42.8%

オミクロン対応の接種率は3、4回目接種の接種率に計上されている場合がある。政府のデータより

一方、重症化リスクの高い高齢者が顧客に多い百貨店の大手店は「消費財の売込みを促す」と慎重だ。ある大手機械メーカーの担当者は「社外への配慮で営業は、先方の配慮で営業はマスク着用を続けざるを得ないだろう」と話す。

指針は、全員着用可能な新機軸でマスクを容認する一方、ラッシュ時の電車などは着用を推奨する。JR東日本の幹部は「通勤・通学で混雑する環境に、乗客の大半はマスクを着用したままでは、駅の風景はあまり変わらないだろう」とみる。



# 【マスコミ報道】3月3日付け読売新聞に金管バンドへの応援メッセージが掲載されました。

2023年3月3日

て脚のあう後てま。要にお薬年定 | るあこらう候じきチ をが質のッ。理系 | 風指 いよきや す。1掛

広告 企画・制作 (株)読売鹿児島広告社

## 2023全国小学校管楽器合奏フェスティバル九州大会出場おめでとう!!

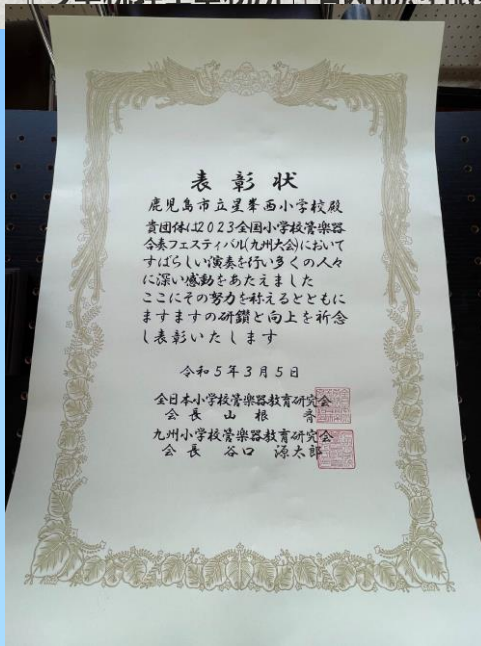
鹿児島市立星峯西小学校金管バンド 大島郡立天城小学校金管バンド

大会: 令和5年3月5日(日) 熊本県立劇場(熊本市)

陽歯科クリニック  
はる haru dental clinic  
院長 木場 秀隆  
鹿児島市星ヶ峯6-6-1(星ヶ峯みなみ台)  
TEL.099-265-8615

JAあまみ  
天城事業本部  
統括理事 上岡 重満  
大島郡天城町天城459-1  
TEL.0997-85-4111

建築塗装・防水工事  
特定非営利活動法人  
今里税理士事務所  
司法書士・行政書士  
吉内司法・行政事務所  
奄美医療生活協同組合  
生協在宅サービスセンター とくのしま  
TEL.0997-81-2755







終